

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立平岸小学校 第5学年 96名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	大都市でありながら年間降雪量が6メートルを超える世界に類を見ない都市である札幌の魅力を「1972年冬季オリンピック札幌大会」と2026年冬季オリンピック・パラリンピック招致について調べる活動を通して、札幌の冬の魅力について自分なりの考えや理解を深める。
5 取組内容	・札幌の冬について考える ・1972年冬季オリンピック札幌大会を調べる ・オリンピックミュージアムでの活動 ・2026年オリンピック・パラリンピック招致について調べる ・札幌の冬の魅力について考える ○指導計画 【総合的な学習の時間】（地域30時間） 1. オリエンテーション（2時間） 2. 「1972年冬季オリンピック札幌大会」について調べよう（5時間） 3. オリンピックミュージアムを見学しよう・オリンピック、パラリンピアンから話を聞こう（3時間） 4. 2026年オリンピック・パラリンピック招致について調べよう（5時間） 5. 札幌の冬の魅力についてまとめよう（10時間） 6. 伝えよう、振り返ろう（5時間）



○学習の様子

【講演いただいたオリンピック】

・橋本 聖子 氏、阿部雅司 氏、川端 絵美 氏、永瀬 充 氏



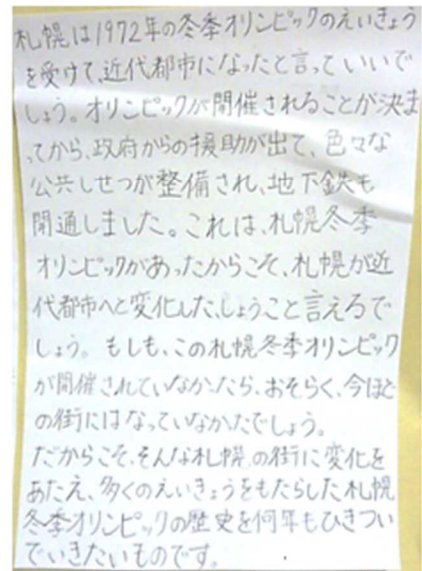
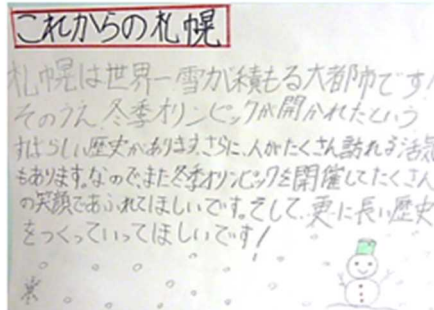
ミュージアムでの講演の様子



【札幌の魅力についてのまとめポスター】

○学習を通して考えたこと

○札幌の冬の魅力とこれからの札幌についてまとめました。



6 主な成果

今年度は冬季オリンピック・パラリンピック平昌大会開催の年でもあり、子どもたちのオリンピック・パラリンピックへの関心は高かったと考える。また、「札幌の冬と言えば」と考えたときに子どもたちはすぐにウィンタースポーツを出し、札幌で行われたオリンピックについてもとても興味をもって調べていた。特に北海道出身の選手が多く出場していること、札幌の都市が大きく変わったことに驚いて詳しく調べる姿があった。

オリンピックミュージアムでは、4名のオリンピック・パラリンピアンの方の競技に対する思いや考え方を聞き、「あきらめないことが大事だと感じた。」「相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ。」と感想をもっていた。また、札幌が降雪量の多い大都市でありながら、大雪がふっても都市の機能が停止しないこと、雪質がとてもよいことを教えてもらい、札幌のすごい所を知ることができた。オリンピックについての展示では自分たちで調べきれなかったことを調べたり、実際に体験できたりして考えを広げることができた。

	調べたこと、聞いたことをもとに札幌の冬に魅力について自分なりの考えをもち、ポスターにまとめることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	オリンピック・パラリンピック招致については、自分たちで調べて理解することが難しい内容のものがあつた。調べる内容を整理する必要があつた。 講演の後に質問する時間をいただいたので、自分たちの課題に直結するような質問をすることができるとよかった。事前に聞きたいことを考えておいてもよかった。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。